

世界50ヶ国 国内販売20年以上の実績・シェアNo.1

EVAC+CHAIR®

Emergency Evacuation For Everyone

世界50ヶ国
国内販売20年以上の実績
シェアNo.1

- 3.11東日本大震災でも
多くの場面で活躍
- 女性でもらくらく簡単操作
- モータ・エンジンなどの動力・
電力不使用
- 最大荷重：182kg



階段避難車 MK5-JP



Since 1982
(EVAC+CHAIR社)

安心のイーバック+チェアを お届け

輸入元である株式会社コーケン は、医療機器専門の製造及び輸入会社です。イーバック+チェアの品質検査は、その豊富な専門性を活かして、熟練の検査員が医療機器の品質保証と同様の手順で、1台、1台丁寧に厳しく検査した上で皆様にお届けしています。従いまして、「イーバック+チェア」の保証内容に関しましては、英国イーバック+チェア インターナショナル社発行の保証内容に拘らず、弊社が発行する日本語の取扱説明書記載保証内容を優先させていただきますのでご了承願います。

「いざ」というときに確実に使える!

階段避難車 MK5-JP

EVAC+CHAIR®

Emergency Evacuation For Everyone

“EVAC+CHAIR®”は世界に先駆けて英国Evac+Chair International Ltd.が開発・実用化した階段避難車です。地震や火災などでエレベータが使用できない災害時・非常時に、要介護者やケガをされた方など歩行困難な方を上層階から階段を使用して、安全・円滑・迅速に避難させることができます。軽量、強固なアルミ合金フレームで、モータ・エンジンなどの動力は一切使用しておらず、1人~2人の操作者で182kgの方まで避難させることができます。

簡単操作

女性の方も操作は簡単

収納状態から素早く開いてイスに、対象者を乗せて腹部を固定します。「いざ」という時でも、機械的な操作はほとんどなく、軽量のため、女性でも操作は簡単です。



安心

腹部と頭部の固定で安心

腹部と頭部の固定ができるので、意識のない方や拘束の必要な方にも安心して使えます。



スムーズ・迅速

狭い踊り場での取りまわしも簡単

“EVAC+CHAIR®”なら前輪を軸にその場で回転もスムーズに行なえるため、狭い踊り場でも容易に操作ができます。



安全

当社専門スタッフによるメンテナンス体制も万全

「いざ」というときに安心して使って頂けるよう2年ごとのVベルトアセンブリ交換*を推奨しています(有償)。

*Vベルトは使用、保管状況により、摩耗や経年劣化が考えられるため、本体の点検およびVベルトアセンブリ式を交換致します。詳しくは担当営業にお尋ねください。



Easy

簡単操作

Secured

安心

Smooth

スムーズ・迅速

Safe

安全

Comfortable

快適

Light

軽量

EVAC+CHAIR®
GOOD
Secured

災害からすべての人々を救う防災対策整備のひとつとして “イーバック+チェア”の導入をお勧めします

快適

滑らかな乗り心地で健常者と同じ速度で避難できる

操作者が歩くスピードから小走りでも降りることができます。本体下に取り付けられたスキー部に専用Vベルトが装着されており、このVベルトが階段の角2~3段に接地しながら階段を降ります。乗車者の重みでVベルトが階段の角に押し付けられるため摩擦抵抗が生じ、適度なブレーキが掛かるように設計されており、不快な揺れもほとんどありません。平坦なフロアは四輪で車椅子のように安定して走行できます。



平坦なフロアでの状態



階段での状態



軽量

持ち運びもラクラク

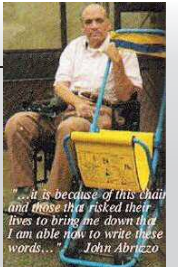
最大荷量が182kgもありながら、本体質量は約9.5kgと軽量です。男性はもちろん、女性でも容易に持ち運びができます。

9.11 奇跡の生還者

ジョン・アブルッツオ氏

ワールドトレードセンターのタワー1から、奇跡的に生還を果たした方一人、ジョン・アブルッツオ氏。彼は、他の10名の同僚と一緒に、狭い階段を使用し脱出に成功しました。

2001年9月11日当日、彼は港湾事務所の副会計士として69階で働いていました。一番目の飛行機がタワーに突込んだ際、彼も他の人々と共に階段に向かいました。しかし、彼はC5-6の四肢麻痺の障害者で、電動車椅子が手放せない状態。そこから脱出することは、他の大勢の人々よりはるかに困難な状態でした。その状況の中、ジョンは同僚と共に脱出することに何の戸惑いもありませんでした。なぜなら、当時すでにワールドトレードセンターには、災害弱者のために100台程のEVAC+CHAIR®という特別な脱出装置が設置されていたからです。同僚らはこのEVAC+CHAIR®にジョンを乗せ、踊り場でリレーしながら69階もの薄暗い中を1時間半程で全員無事脱出することができました。後日彼は「タワー1が崩れる15分前に脱出できたことに驚きを隠せなかった」と語ったそうです。



"...it is because of this chair and those that risked their lives to bring me down that I am able now to write these words..."
John Abruzzo

海外で性能・安全性は実証済

ISO13485:2016認証工場での製造

英国イーバック+チェア インターナショナル社は、医療機器の品質保証のための国際標準規格 ISO13485取得工場であり、同規格に基づき高品質で安全性に留意したイーバック+チェアの設計、開発から製造まで一貫した生産を行っております。ISO13485は、ISO9001を基本に、医療機器固有の要求事項を付加した品質保証のための国際標準規格です。



CEマーキング表示適合製品

イーバック+チェアはEU域内の自由な販売、流通が保証されるCEマーキング適合製品です。



ドイツGPSG法に基づく製品

イーバック+チェアはドイツ機器安全法 (GPSG法) に基づき厳格に検査され安全性が保証された製品だけに与えられるGSマークを取得しています。

※GSマークの“GS”は、ドイツ語のGeprüfte Sicherheit (Approved Safety) の略で“安全性確認済”を意味しています。



その他の認定



世界のトップブランド、EVAC+CHAIR® (イーバック+チェア)

イーバック+チェア(階段避難車)が、2001年(平成13年)に初めて日本に上陸してから20年以上になります。当時階段避難車という言葉すら存在しておらず、「階段避難車」というネーミングは私共が苦労して創った造語でした。しかしながら英国、ドイツ、フランスなどのEU諸国および米国では、すでにその当時からイーバック+チェアは公共施設や各企業に多数導入されており、現在では50か国の世界各地で広く普及しております。日本では2011.3.11東日本大震災において「イーバック+チェアを備えておいて良かった」、「イーバック+チェアのお陰で楽に階段から降ろすことができた」というお礼のお言葉を多数頂戴しました。3.11以降、行政は災害、減災、防災対策に力を注いでおり、企業においても災害時に備えた事業継続計画(BCP)を重視する自治体・企業が増えております。災害対応の備えの一つとして、イーバック+チェアをご検討ください。

国内納入先

【自治体】 国土交通省、愛媛県庁、佐賀県庁、東京都庁、千代田区役所、練馬区役所、大田区役所、新宿区役所、港区役所、墨田区役所、荒川区役所、板橋区役所、横浜市青葉区役所、浦安市役所、大阪此花区役所、岸和田市役所、大津びわこ合同庁舎、仙台市消防局、東京消防庁、千葉市消防局、奈良市消防局、大分市消防局等、及び全国各地消防本部、消防署、各地の家裁・地裁・高裁

【学校】 北海道大学、岩手県立大学、東京大学、東京理科大学、東京工業大学、東京外国語大学、早稲田大学、成蹊大学、多摩美術大学、東洋大学、帝京平成大学、創価大学、日本大学、浦和大学、愛知教育大学、名古屋学芸大学、京都大学、帝塚山大学、日赤看護大学、森ノ宮医療大学、静岡大学、静岡厚生連看護専門学校、SOLA沖縄学園

【病院】 東北大学医学部附属病院、NTT東日本東北病院、山形大学医学部附属病院、山形県立日本海病院、自衛隊仙台病院、取手協同病院、筑波メディカルセンター、済生会宇都宮病院、獨協大学越谷病院、東京医科歯科大学歯学部附属病院、東京女子医科大学病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、都立府中病院、新東京病院、順天堂大学浦安病院、自衛隊横須賀病院、市立大町総合病院、静岡徳洲会病院、名古屋市立大学病院、藤田保健衛生附属病院、京都大学医学部附属病院、兵庫医科大学病院、神戸大学医学部附属病院、市立貝塚病院、滋賀医科大学医学部附属病院、広島大学病院、小倉第一病院、徳島県立中央病院、徳島赤十字病院、高松病院、鹿児島市医師会病院、産育会堀病院、倉敷しがい病院、みはま病院、浦安駅前クリニック、さとうクリニック、東葛クリニック

【企業】 アイシン精機、あおぞら銀行、旭硝子、アサヒビール、味の素、いすゞ自動車、大阪ガス、大塚商会、大塚製薬、オリックス、花王、カシオ計算機、カネカ、川崎重工、関電不動産、キヤノン、キリンホールディングス、グラクソ・スミスクライン、コーチジャパン、神戸製鋼、コマツ、サッポロビール、サントリー、資生堂、清水建設、昭和シェル石油、シャネル、住友重機械工業、住友スリーエム、住友不動産、セイコーインスツル、セガ、そごう、ソニー、ソフバンクBB、第一生命保険、第一三共、大成建設、大和小田急建設、ダイードリンク、千葉銀行、中外製薬、東京ガス、東芝、トヨタ自動車、ニコン、日産自動車、日亜化学工業、日清製粉、日本経済新聞社、日本総合住生活、日本たばこ産業、日本テレビ、日本ハム、日本シユランタイヤ、博報堂、長谷工コーポレーション、パナソニック、パナホーム、日野自動車、富士重工業、富士ゼロックス、富士通、富士フィルム、古河電気工業、フジテレビジョン、ファースト・ファミリーーズ、プロミス、ポッシュ、本田技研工業、丸紅、三井生命保険、三井不動産ビルマネジメント、三井不動産、三越伊勢丹ホールディングス、三菱地所、三菱重工、三菱USJニコス、ミニストップ、ヤフージャパン、ユニ・チャーム、ユニリーバ・ジャパン、横河電機、読売新聞、リコー、リクルート、リョービ、ルミネ、ロイヤルホテル、IHI、KDDI、NEC、NTTドコモ、TBSテレビ、TOTO、WOWOW

【複合ビル】 六本木ヒルズ、表参道ヒルズ、愛宕フォレストタワー、アークタワーズ、新宿エルタワー、新宿センタービル、山王パークタワー、サンシャインシティ、グランフロント大阪、梅田スカイビル、プリーゼタワー、JR東日本ビルディング、東京オペラシティ、渋谷マークシティ

【自治体】 BrillaTower大崎、MM.Towers・Foresis（みなとみらい）、東急ドエルアルス、ヨコハマアイランドガーデン、エアレジデンス新浦安、日吉ハイム、光が丘第二団地、光が丘第三団地、豊ヶ丘団地、公団王子五丁目団地、宮城県綿ヶ丘セントラルハイイツ、千里ガーデンハイイツ、千里南パークマンション、神戸グレイスビュー六甲山手、グランジオ武蔵野

【その他】 羽田空港ターミナル、東京ビッグサイト、東京レポートセンター、コンラッド東京、浦安ブライTONホテル、八芳園、理化学研究所、産業技術総合研究所、海洋研究開発機構、日本気象協会、福島県信用保障協会、那覇市社会福祉協議会、山形コロニー協会、札幌地方検察庁、豊島都税事務所、港区立芝高齢者在宅サービスセンター、NHK、国立劇場、鈴鹿サーキット、ユー・エス・ジェイ、いしかわ総合スポーツセンター、松戸エデンの園、浦安エデンの園、民間救急サービス、スターツケアサービス

海外納入先

【航空会社】 英国航空、バーミンガム空港、リーズブラッドフォード空港、ヒースロー空港、ブリティッシュエアロスペース・システムズ、オランダ・スキポール空港、サザンpton国際空港

【法人企業】 カリフォルニア州エル・セグメント航空宇宙会社、ジョージア州アトランタ・コココーラ社

【学校】 カリフォルニア大学、カリフォルニア州立大学、ジョージア大学

【病院】 マサチューセッツ州ボストン小児病院、テキサス州フォートワード病院、米海軍病院

【ホテル】 ラスベガス・トレジャーアイランド、ラスベガス・トロピカーナホテル、ニューヨーク・ユナイテッドネーションズホテル、ボストン・ウエスティンホテル、ナポリ・ラブラヤビーチリゾートホテル、サンフランシスコ・ヒルトンホテル、サンフランシスコ・マンダリンオリエンタルホテル

【特殊施設】 エッフェル塔、マイアミアリーナ、世界貿易センター、スミソニアン博物館、オタワ国会議事堂、パナマ運河、運河コミッション、米陸軍タンクコマンド

【連邦政府、州、自治体、官公庁】 ネブラスカ・アンドリース空軍基地、モントゴメリー、アラバマ州地方自治体、ワシントンDC・印刷局、ワシントン連邦航空局、ワシントン州オリンピア・ワシントン州上院議会、ウエストバージニア州・雇用局、バージニア州・フォールスチャーチ米国外最高裁判所、バージニア州医療センター、ニューヨーク市通行部 他多数 順不同

仕様・付属品

仕様

- ・寸法 (cm) : 52 (W) × 22 (D) × 102 (H) [収納時]
- ・質量 : 9.5kg
- ・最大荷重 : 182kg
- ・対応角度 : 28~40度
- ・材質 : アルミニウム、スチール、ゴム、合成繊維

付属品

- ・専用ダストカバー
- ・表示プレート
- ・取扱説明書



表示プレート



ダストカバー

専用スタンド 設置例



側面

スタンド本体
(オールステンレス製)

コンパクトにたたためて安定した収納ができ、狭いスペースにも設置可能です。

※改良のため予告なく仕様の一部を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

ホームページ <https://www.kohkenmed.co.jp>


コーケンメディカル株式会社

本社：〒110-0003 東京都台東区根岸1-2-17
PHONE(03)3811-7317 FAX(03)3818-9168
札幌営業所：〒001-0901 北海道札幌市北区新琴似1条8-21-12
PHONE(011)763-1611 FAX(011)763-1626
福島営業所：〒960-8201 福島県福島市岡島字上ノ平1-12
PHONE(024)572-7322 FAX(024)572-7324
新潟営業所：〒955-0093 新潟県三条市下須頃172 バストラル須頃106
PHONE(0256)47-4420 FAX(0256)47-4421
東京営業所：〒110-0003 東京都台東区根岸1-2-17住友不動産上野ビル7号館7F
PHONE(03)3811-7317 FAX(03)3818-9168
名古屋営業所：〒465-0092 愛知県名古屋市名東区社台1-60 エイコービル
PHONE(052)772-9370 FAX(052)772-9372
大阪営業所：〒540-0024 大阪府大阪市中央区南新町2-2-10 大平第2ビル
PHONE(06)6942-0106 FAX(06)6942-0104
広島営業所：〒730-0802 広島県広島市中区本川町2-3-22 ナカシマビル
PHONE(082)208-5591 FAX(082)208-5592
愛媛営業所：〒799-1353 愛媛県西条市三津屋南2-59 越智ビル
PHONE(0898)64-5531 FAX(0898)64-5530
福岡営業所：〒811-3101 福岡県古賀市天神1-25-1 アコーズ古賀
PHONE(092)410-0916 FAX(092)410-0917
輸入元：株式会社コーケン 〒110-0003 東京都台東区根岸1-2-17

お問い合わせ